

古民家再築工事!!

090-8938-4016 : 0749-72-3908

近江八幡市為心町で築120年の古民家を再築しています



永原町通りや新町通りなどの市内に残る古い商家の町並みは、県下で初めて国の重要伝統建造物保存地区に選定されました。その新町通りの江戸末期から明治にかけて建てられた家々は、屋根に防火用の壁である（うだつ）を上げています。豪商の邸宅では家を火災から守る為に屋根に（うだつ）を作りあげました。また、堀越しにのぞく（見越し松）が通りにひとときわ風情を添えています

初代五郎兵衛は、伴傳兵衛家に勤め、別家を許され、煙草や麻布を商いました。やがて、呉服・太物など取扱商品を増やし、江戸日本橋や大阪本町にも出店するなど活躍しました。



近江八幡市の鍛冶屋町、為心町、魚屋町などに沢山の古民家が有ります。歴史的建造物まではいかなくても、商売で成功した方が住んでおられたようです。

今回は約築120年の古民家を鑑定し、全面再築を行います。どのように収まるか私も楽しみです。

古民家鑑定の様子は協会HPにアップしていますので見てください。 <http://www.kominka-shiga.com/>



瓦をめくって角タルキを丸太に変えて数寄屋づくりに再築です。丸太のほうづえと桁は、仕事に来た時から出来ていて、外すとキズが出てしまい、やもおえづこのままにしました。残念です!



最近、古民家の再築や活用方法のお話が増えてきました。若い人たちにも理解されつつ有り受け入れてくれる方が大勢います。建てては壊すそんな住宅業界にははじめをつけて、いいものは残し活用!住宅業界だけではなくどの業界も<手間を惜しまずコツコツ>と行きましょう。



岡崎生まれの石で、岡崎の職人さんが仕事された一品です。作者の名前は分かりませんが、かなり古いと言われてました。左の立石の奥に据えます味が有るな～親方も年と共になんだか燈籠まで関心が出てきました。

仕上がってきましたよ古材で新築です。これだけの樫材は中々そろいませんね。長年の願いだったと施主様から聞き、古材で伝統構法の車庫をと提案しました。古材？え！最初はそんな事出来るのかと、半信半疑だったそうです。しかし、古材を見てからは納得されてこれならいいね～そんなこんなでここまで来ました。後は木製建具の仕上がりを待つばかりです。



古材 住居、店舗に…古材が欲しい！

土間は古石を並べて仕上げたかったのですが、材料がそろわず断念しました。古材：古石もこれからは集めて行きますので、不要の方は連絡をください。

壁はやっぱりこの場合だと漆喰が似合いますね。手間がかかりますが、落ち着きのあるのはいい癒しですね

代表 大森敏昭